

**平成16年度 事業報告書**  
**(平成17年度事業計画書)**

**第2回定時総会**

**平成17年6月30日**

**特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会**

## ご挨拶

平素は、当協議会に格別のご支援、ご協力を賜り誠に厚く御礼申し上げます。

当協議会では、NPO法人移行後2年目の活動年度である平成16年度においては、特定非営利活動に係る三つの事業を中心に事業を推進実行して参りました。

まず、1) eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業では、医療系Webサイトの自主基準であるeヘルス倫理コードのバージョンアップをはかり、同コードに基づくトラストマーク付与の審査認定(5件)を行いました。次に、2) eヘルス倫理コードマネージャー&アドバイザー講習会事業では、年間4回の講習会を開催、組織の中であってeヘルス倫理コードを理解し運用を行うeヘルス倫理コードマネージャー11名、外部にあって専門的立場からアドバイスを行う同アドバイザー3名を資格認定しました。

そして、3) 研究会(フォーラム)の開催事業では、本年4月からの個人情報保護法施行で医療分野での個人情報保護に関心が高まる中、厚生労働省の個人情報保護ガイドライン案が発表された直後、12月中にも、病院関係者、専門家、識者を招いて、医療関係者・市民を対象とした特別シンポジウムを開催し、大きな反響を得ることができました。

昨年度はその他にも、辰巳理事長(札幌医科大学教授)を主任研究者とする厚生労働科学研究費補助金研究事業に協力するかたちで、「医療・保健分野におけるインターネット利用の信頼性確保に関する調査研究(継続研究3年目)」を行いました。テーマは医療機関における個人情報保護対策の準備状況と病院Webサイトの評価でしたが、当研究を通じてまだまだ大きな課題があることもわかりました。

平成17年度は、当協議会の3つの活動をさらに推進していくとともに、インターネットを通じた情報やサービスの提供の在り方に関する議論が出始めている状況の中、JIMAのこれまでの経験を踏まえつつ、医療分野でのITの健全な発展を促していくための意見提示や環境づくりに向けた活動に取り組んで参りたいと存じます。

会員各位、並びに関係者の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

平成17年6月30日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会  
理事長 辰巳治之

# 平成16年度事業報告

(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

## 1. 事業成果

平成16年度は、Webサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コードのバージョンアップ (Ver1.1.0)をはかるとともに、本コードのいっそうの普及をめざし、医療機関や企業のサイト管理者を対象に、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格取得者の育成を目的とした講習会を開催した。また、本倫理コード基準によるサイトの審査認定、トラストマーク付与事業も継続的に行った。12月には、個人情報保護法の施行を控え、医療機関、企業、市民を対象に、医療分野の個人情報保護に関する特別シンポジウムを開催した。

## 2. 主な事業の詳細

### 1) eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業

医療系Webサイトの自主基準であるeヘルス倫理コードに基づくトラストマーク付与の審査申請を12件受付した。うち、5サイトを審査認定し、マーク付与を行った。(1件がマーク取得を断念、その他は、改善等により受審を継続中。)

### 2) eヘルス倫理コードマネージャー&アドバイザー講習会

組織の中にあつて、eヘルス倫理コードを理解し運用を行うeヘルス倫理コードマネージャーと、外部にあつて専門的立場からアドバイスを行う同アドバイザーを育成する講習会を開催した。4回の開催で、マネージャーを11名、アドバイザー3名を資格認定した。

### 3) 研究会(フォーラム)の開催

厚生労働省の個人情報保護ガイドライン案が発表された後、先進的に対策を進める病院責任者、関連分野の専門家、識者を招聘して、病院関係者・市民を対象とした特別シンポジウムを開催した。

### 4) 厚生労働科学研究事業への協力

辰巳理事長(札幌医科大学教授)を主任研究者とする厚生労働科学研究費補助金による

研究事業に協力するかたちで、「医療・保健分野におけるインターネット利用の信頼性確保に関する調査研究(継続研究3年目)」を行った。テーマは医療機関における個人情報保護対策の準備状況と病院Webサイトの評価。

5) その他、本協議会の事業目的に定める事項の推進実行

本法人の活動趣旨の普及をはかるため、各方面への積極的な広報に努めるとともに、関係官庁・組織・団体との情報交換や意見提示を行った。

## 会員動向報告

(平成17年6月10日現在)

### 1. 現在会員数

内訳	正会員	74名
	賛助会員	6社
合計		80名(社)

2年以上の会費未納者は除外。

### 2. 平成16年4月以降、現在(平成17年6月10日)までの 新規入会数

入会数 21名(社)

内訳	正会員	20名
	賛助会員	1社

# 16年度 事業報告書

平成16年 4月 1日から 平成17年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会

## 1 事業の成果

本年度は、Webサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コードのバージョンアップをはかるとともに、本コードのいっそうの普及をめざし、医療機関や企業のサイト管理者を対象に、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格取得者の育成を目的とした講習会を開催した。また、本倫理コード基準によるサイトの審査認定、トラストマーク付与事業も継続的に行った。12月には、個人情報保護法の施行を控え、医療機関、企業、市民を対象に、医療分野の個人情報保護に関する特別シンポジウムを開催した。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
サイト認定事業(マーク付与)	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	インターネットにより全国	10名	医療機関、企業、団体等 12組織	100
eヘルス倫理コード講習会事業	eヘルス倫理コードマネージャー及び同アドバイザーの教育育成	5月、10月 12月、2月	東京	3名	医療機関、企業、団体等 14名	295
研究会事業	医療分野の個人情報保護に関する研究会(フォーラム)の開催	12月	東京	15名	医療関係者、企業、市民等 50名	1695

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

## 16 年度会計 収支計算書

平成16年 4月 1日から 平成17年 3月 31日まで

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

科 目	金 額 (単位:円)		
収入の部			
1 会費・入会金収入	83,000	552,000	
入会金収入	469,000		
会費収入			
2 事業収入		2,923,530	
マーク事業収入	1,059,160		
倫理コード講習会事業収入 研究会事業収入	650,000 1,214,370		
3 その他収入		500,001	
利息収入	1		
事務受付等	500,000		
当期収入合計(A)		3,975,531	
収 入 合 計(A)			3,975,531
支出の部			
1 事業費		2,090,154	
(1) マーク事業費	100,000		
(2) 倫理コード講習会事業費 (3) 研究会事業費	295,084 1,695,070		
2 管理費		2,117,364	
会議費	104,230		
事務用品費	29,627		
通信費	126,626		
旅費交通費	204,590		
消耗品費	1,477		
発送費	18,230		
コンピュータ関連費	242,928		
新聞図書費	33,495		
印刷コピー費	100,128		
家賃	682,000		
事務受付費	400,000		
水道光熱費	38,125		
雑費	135,908		
3 予備費		0	
予備費	0		
当期支出合計(B)			4,207,518
当期収支差額(A) - (B)			-231,987
前期繰越収支差額(C)			374,375
次期繰越収支差額(A) - (B) + (C)			142,388

## 16 年度会計 貸借対照表

平成 17年 3月 31日作成

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

科 目	金 額 ( 単位 : 円 )		
資産の部			
1 流動資産			
現金	13		
普通預金	2,375		
流 動 資 産 合 計		2,388	
2 固定資産			
事務所敷金	140,000		
固 定 資 産 合 計		140,000	
3 繰延資産			
繰 延 資 産 合 計	0	0	
資 産 合 計			142,388
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
流 動 負 債 合 計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			142,388

# 平成 17 年度事業計画書

(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人  
日本インターネット医療協議会

## 1 事業実施の方針

平成 17 年度も、JIMA の e ヘルス倫理コードに基づくサイトの審査認定事業を推進していく。また、引き続き、医療機関や企業等における本倫理コードの確実な運用を支援するため、e ヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザー講習会の開催と同資格者の育成事業に取り組む。また、インターネット医療フォーラム等の研究会を開催する。

## 2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業を以下に掲げる。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
サイトの審査認定事業	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	全国	10 名	医療機関、企業等 6 機関(社)	140
e ヘルス倫理コード講習会事業	e ヘルス倫理コードマネージャー及び同アドバイザーの教育育成	年 5 回	主に東京	3 名	医療機関、企業、団体等 14 名(社)	210
研究会事業	インターネット医療に関する研究会(フォーラム)の開催	12 月	東京	10 名	医療関係者、企業、市民等 50 名	66

## 平成 17 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	金額		
収入の部			
1 会費・入金収入			
入金収入	70,000		
会費収入	480,000	550,000	
2 事業収入			
サイト認定事業収入	420,000		
講習会事業収入	700,000		
研究会事業収入	66,000	1,186,000	
3 その他収入	140,000	140,000	
当期収入合計		1,876,000	
前期繰越収支差額		142,388	
収入合計			2,018,388
支出の部			
1 事業費			
サイト認定事業費	140,000		
講習会事業費	210,000		
研究会事業費	66,000	416,000	
2 管理費			
会議費	100,000		
事務用品費	50,000		
通信費	120,000		
旅費交通費	100,000		
消耗品費	30,000		
発送運搬費	10,000		
コンピュータ関連費	200,000		
印刷コピー費	100,000		
事務所賃借費	420,000		
事務手数料	360,000		
新聞図書費	30,000		
雑費	50,000	1,570,000	
3 予備費			
予備費		30,000	
当期支出合計			2,016,000
当期収支差額			2,388
次期繰越収支差額			2,388

## 平成16年度～17年度役員一覧

(自平成16年4月1日 至平成18年3月31日)

(敬称略、アイウエオ順)

理事長	辰巳治之	札幌医科大学教授
副理事長	花井荘太郎	国立循環器病センター運営局調査課
副理事長	水島 洋	国立がんセンター研究所がん診療支援情報研究室室長
理事	伊藤雅彦	国際医療福祉大学臨床医学センター助教授
〃	小内 亨	おない内科クリニック副院長
〃	上出良一	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座教授
〃	亀田俊忠	亀田総合病院理事長
〃	河北博文	河北総合病院理事長
〃	西藤成雄	医療法人西藤こどもクリニック院長
〃	中山健夫	京都大学大学院医学研究科助教授
〃	畑 直成	畑内科クリニック院長
〃	藤谷護人	エルティ総合法律事務所(東京弁護士会)
〃	松岡萬里野	日本消費者協会参与
〃	三谷博明	日本インターネット医療協議会事務局長
〃	山中 昇	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科教授
監 事	大山博司	両国東口クリニック副院長